

産学協働プログラム
「人生 100 年時代の都市・インフラ学」
シンポジウム

「メディアとしての都市・インフラ」再考

変わりゆく環境とひとの身体性をつなぐ

都市・インフラは、日常生活の中でひとが何を知覚しどう生きるかをなだらかに決めていきます。変わりゆく環境とテクノロジーが、これまでの生き方・働き方に警鐘を鳴らす中、都市・インフラにもメディアとしてイニシアティブをとる役割があります。

私たちは「ひと、まち、自然」3つの観点から議論を積み重ねてきました。見つかったキーワードに「変わる、止められない環境」と「変わらない、残るひとの身体性」があります。

これまで当たり前だった日常を静かに見つめ直すとき、ひとの感覚は、どんな方向に都市空間を連れて行こうとするのでしょうか。

新型コロナが世界を揺さぶる中、あらためてこの問題を問い直したいと思います。

10月29日(木) 2020年
15:00~17:30
オンライン開催

お問い合わせ

プログラム事務担当 清原 康代
kiyohara.s.aa@m.titech.ac.jp
TEL:03-5734-2260

- 15:00~15:10 ご挨拶 東京工業大学 学長 益一哉
- 15:10~16:10 特別講演
INIAD(東洋大学情報連携学部)学部長、東京大学名誉教授 坂村 健様
「スーパー & セーフシティ」
- 16:10~16:30 研究報告
東京工業大学 環境・社会理工学院 教授 鼎 信次郎
「2100年の都市・インフラを考えるための地球環境変化」
- 16:30~16:40 2019年度プログラム活動と議論の振り返り
- 16:40~17:20 パネルディスカッション
パネリスト
日本電気株式会社 中央研究所 上席技術主幹 中村 祐一様
東京工業大学 環境・社会理工学院 教授 安田 幸一
東京工業大学 環境・社会理工学院 教授 鼎 信次郎
モデレーター
東京工業大学 環境・社会理工学院 教授 野原 佳代子
- 17:20~17:30 来期に向けて プログラム総括 中井 検裕



益一哉



坂村 健



鼎 信次郎



中村 祐一



安田 幸一



野原 佳代子

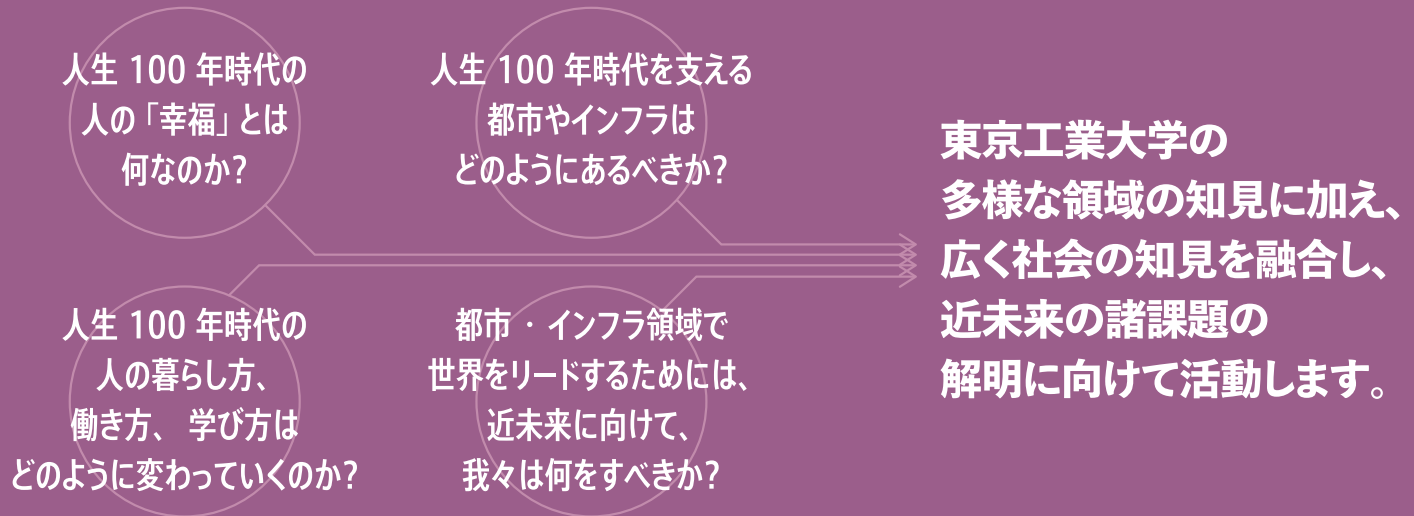


中井 検裕

東京工業大学 環境・社会理工学院の産学協働プログラム 「人生100年時代の都市・インフラ学」とは?

“To build better futures, we must first imagine them.”

Central Saint Martins, University of the Arts London;
Specially Appointed Professor, WRHI, Tokyo Institute of Technology
Dr. Betti Marenko



コーディネーター・ファシリテーター



「ひと」コーディネーター

建築学系 准教授
真野 洋介

住環境・まちづくり、都市の形態とデザイン



「まち」コーディネーター

土木・環境工学系 准教授
室町 泰徳

都市計画・都市施設計画、都市交通計画・交通行動分析、交通と気候変動



「自然」コーディネーター

建築学系 准教授
浅輪 貴史

都市・建築環境工学、ヒートアイランド、熱環境シミュレーション、都市緑化、住環境評価、環境のリモートセンシング



ファシリテーター

建築学系 准教授
十代田 朗

都市・地域計画学、都市計画史、観光リゾート発達史、観光計画論



ファシリテーター

融合理工学系 教授
野原 佳代子

言語学、翻訳理論、科学技術とアート融合



ファシリテーター

土木・環境工学系 教授
鼎 信次郎

水循環・水資源、水災害、河川計画、地球環境変動

会員企業

AsahiKASEI
旭化成ホームズ

ria
株式会社アール・アイエー

大林組
OBAYASHI

okamura

100年をつくる会社
鹿島

KYORITSU
HOTELS & DORMITORIES

KUME
SEKKEI

AXS
株式会社 佐藤総合計画

子どもたちに誇れるしごとを。
SHIMIZU CORPORATION
清水建設

大成建設
TAISEI
For a Lively World

TAKENAKA

東急不動産ホールディングス

戸田建設株式会社

TOYOTA

西松建設

株式会社 日建設計

NIHON SEKKEI

Orchestrating a brighter world
NEC

JR JR東日本グループ

三井不動産
MITSUI FUDOSAN

三菱地所

森ビル
MORI BUILDING